

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つむぎ吉備中央（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和7年9月3日		～	令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんに応じて、個別エリアを設置している。	静かな環境を好むお子さんなど、一人ひとりの特性に応じて、みんなと同じ部屋の中に個別でゆったりと過ごせるエリアを設けています。	クールダウンスペースなどを整えることで、お子さんがより安心して過ごせる環境づくりを進めていきたいと考えています。
2	設定活動等の小集団での活動を行っている。	ホール等を活用し、運動活動やボードゲームなどの小集団活動を行っています。その中で、体の動きやコミュニケーション力の向上を目指しています。	お子さんの様子に応じて、活動の主役となってもらえる機会を設けるなど、より主体的に取り組める活動づくりを進めていきたいと考えています。
3	学校との情報共有を随時行っている。	毎月、各学校から行事予定をいただき、下校時刻の把握を行っています。また、利用曜日の変更や新規利用児童についても、随時情報共有を行っています。	引き続き学校との連携を密にし、丁寧な情報共有を通して、より良い協働関係を築いていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもに応じた机や椅子の大きさの調整が難しい。	高学年と低学年が同じ時間帯に利用しているため、机や椅子の高さ調整が難しい状況です。限られた備品の中で、年齢や体格に応じた対応が求められます。	学年ごとに利用曜日を分けるなど、環境を調整しやすい体制を整えるとともに、足置き等を活用して低学年児童も安定して座れるよう工夫を重ねていきます。
2	毎日の連絡会や毎週の支援会議を実施しているが、全職員で把握が難しい。	休みの職員や参加できなかった職員への情報共有が十分に行き届かない状況です。	デジタルツール（WAWA）を活用し、報告内容を全員で共有できるようにします。報告担当者・報告曜日・報告時間を定め、習慣化を図るとともに、不参加時にも自主的に確認できる体制をつくっていきます。
3	個人情報について口頭での会話に対して、配慮が不十分である。	申し送り時などに複数の職員が同じ空間で話すことが多く、内容が他者に聞こえやすくなる場面があります。	家族との距離を保った位置で申し送りを行う、声の大きさを意識して調整するなど、個々の配慮を徹底します。必要に応じて相談室を活用し、より安心できる情報共有の場づくりを進めていきます。